

登山学校レポート(第9回講習)冬山講習

【福岡勤労者山岳会・田中敦典】

◎日程及び場所： 1月21日(土)～22日(日)伯耆大山

県連登山学校の第9回講習は冬山②(伯耆大山)である。1月20日(金)の夜に4台の車に分乗し福岡を出発、21日(土)の朝4時に蒜山高原 SA に到着。そこで仮眠を取り、朝7時半頃には大山寺の駐車場に到着した。今回は、前回の冬山シミュレーション講習から見えてきた課題を次のように整理して臨んだ。

- ①アイゼンやワカンの装着を始め様々なことを手袋とオーバーグローブを着けて素早くできるようになること。
- ②テント生活については、テント設営、飲料水作成等、パーティ全員のチームワークのもと、素早く、的確に動くこと。
- ③アイゼン・ピッケルワークについては正しい操作を無意識にできるようになること。
- ④コンテとスタカットの切り替えの判断やスタンディングアックスビレイを始め様々なビレイの方法について理解と習熟を深めること。

実際の講習会では、雪がかなり積もっていたため、ほとんどワカンかアイゼンを着けての行動になり、それ程もたつくことなく装着することができた。テント設営では、自分のテントは受講生が自分一人だけであとは講師の方々だったので、講師の方々を手伝う形になってしまった。アイゼン・ピッケルワークについては、再度指導を受け、滑落停止やビレイでの活用の方法を学ぶことができた。コンティニューアスで実際に登ることは無かったが、樹木でセルフビレイを取った受講生に確保してもらいながら、トップでランニングビレイを取りながら雪面をトラバースするという経験をさせていただき、スタカットの練習になった。また、ビレイの方法としてスタンディングアックスビレイ以外にも、いくつか確保支点を構築する方法を教えていただいた。

今回の冬山講習では雪洞を掘ってその中に寝た受講生や講師が4人いた。自分は雪洞に寝た経験はないが、今後、冬山でどんな状況に遭遇するかわからないので、雪洞を掘りその中でビバークできるような力を身につける必要があると感じた。また、今回は天候に恵まれ、夜は寒かったが日中は風も無く穏やかな天気だったので、これが当たり前だと思わずに、悪天候での状況判断ができるようになるために、さらに冬山の経験を積み重ねたいと思う。

今後、この県連登山学校で教えていただいた事や身につけた事を自分の会やさまざまな人々に広げていくことができれば、自分自身にとっても確認になるし、学んだ事がさらに深く定着していくのではないかと考えている。今回も貴重な経験をさせてくださった講師の皆さんと、常に情報を共有し合い協力し合う事ができた受講生の仲間の皆さんに改めて深く感謝したい。

